

科目名	障害者・障害児心理学			担当教員	野村 香代	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SPS312
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	臨床心理士、公認心理師					
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士として小中学校の巡回相談を行なう中で、教育現場から挙げられる事例に基づき、発達障害児の困り感や支援のあり方について考える視点を提供する。					
到達目標及びテーマ	1.主要な障害（発達障害、知的障害、身体障害、精神障害等）の定義と特性を、最新の診断基準や関連法規に基づいて適切に説明できる。 2.障害を持つ本人やその家族の心理的特性および「困り感」を多角的に理解し、個別の状況に応じた心理的・教育的支援のあり方を検討できる。 3.社会モデルの視点を踏まえ、教育・福祉・労働等の各現場における合理的配慮や多職種連携を通じた、ニーズに沿った支援方法を提案できる。					
授業の概要	本講義では、障害を持つ子どもや成人の心理特性と、それに対する心理学的支援の理論と実際を習得する。障害の基礎知識として、医学的診断基準を学ぶだけでなく、本人や家族が日常生活や教育場面で直面する具体的な困難や心理的葛藤に焦点を当てる。各講義では、特定の障害を取り上げ、心理特性に応じた具体的な支援技法や、環境調整における心理職の役割について、事例やワークを交えながら考察する。「障害」を社会との相互作用として捉え、本人のQOL向上に資する包括的な支援の視点を養う。【デジタル技術利用 該当番号：①、③】					

授業計画	
第1回	イントロダクション：障害とは
第2回	知的障害【ID】とは
第3回	自閉症スペクトラム障害【ASD】とは
第4回	注意欠如多動性障害【ADHD】とは
第5回	限局性学習障害【SLD】とは
第6回	発達性運動協調障害【DCD】とは
第7回	学校現場で見られるその他の障害
第8回	慢性疾患への心理的支援
第9回	早期発見・早期支援とは
第10回	家族支援
第11回	支援の基本
第12回	支援方法① 行動への支援
第13回	支援方法② 社会性への支援
第14回	就労支援
第15回	講義のまとめと最終テスト

事前学修	2時間	次回の講義に該当する障害について、新聞記事などで事前に現状を捉えておくこと。
事後学修	2時間	講義内容を振り返り、今後の学習や実践につながるように、まとめておくこと。
フィードバックの方法	①振り返りシート、レポートは、必要に応じて朱書きをして授業内に返却し、質問事項に関しては講義で解説を加える。 ②小テストを実施し、返却して現在の学習課題がわかるようにフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100%	①授業中/授業後の振り返りシート（30％）、②小テスト(20%)、③最終テスト（50％）

定期試験		0%	実施しない
補足事項	本講義は、公認心理師養成のカリキュラムとして組み込まれている科目であり、障害に関する専門的な内容を学ぶ講義である。障害特性や支援法に関する正確な知識を十分に習得していることを単位認定の重要な基準としているため、最終評価においては、講義内容を踏まえた専門的素養が一定の到達水準に達しているかを確認する。 また、本講義は各回の積み上げによる理解を重視している。教育実習等により、全15回の講義のうち7回以上対面での受講が困難となる場合は、学習効果を担保できないため受講を控えること。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	適宜紹介する			